

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（930））
2. 日 時：平成30年5月10日 10時00分～12時30分  
13時30分～18時05分

3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

義崎管理官補佐、津金主任安全審査官、正岡主任安全審査官、田尻安全審査官、  
関根技術研究調査官、山浦技術参与

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 副室長 他19名

東北電力株式会社：原子力部（原子力業務） 副長 他3名

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 原子炉安全技術グループ 副長  
他4名

中部電力株式会社：原子力部 設備設計グループ 担当 他2名

北陸電力株式会社：志賀原子力発電所 保守部 保守計画課 担当 他2名

中国電力株式会社：電源事業本部（原子力設備） 担当 他2名

電源開発株式会社：原子力技術部 設備技術室 担当 他3名

5. 要旨

（1）日本原子力発電から、5月7日及び本日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請書のうち、安全設備及び重大事故等対処設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書、計測装置の構成等に関する説明書、放射線管理用計測装置の構成等に関する説明書及び強度に関する説明書について説明があった。

（2）原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

【計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書関係】

- 3月22日にも指摘しているが、格納容器酸素濃度計（SA）の重大事故等の環境下における適合性について、実証試験の結果を含めて早急に整理して提示すること。

【強度に関する説明書】

<強度計算の基本方針>

- 建設時の告示に強度評価の規定がなく施設された機器については、設計・建設規格の評価式及び許容値を用いて強度評価を行うとしているが、建設時の設計方針及び設計・建設規格策定時の方針の差異を踏まえて、強度評価に設計・建設規格を用いた評価を行うことの妥当性を整理して提示すること。

<重大事故等クラス2機器及び重大事故等クラス2支持構造物の強度計算の基本方針>

- 設計・建設規格で使用制限されている材料について、当該材料は各板保証されていないが、そのことが強度に与える影響について整理して提示するとともに、当該材料を使用できることの妥当性を整理して提示すること。

#### <強度計算方法>

- 基本板圧計算方法において、板圧計算と記載せず強度計算と記載しており混乱するので、両者の関係が明確にするように整理して提示すること。
- 強度計算方法の構成について、強度計算の基本方針と整合させて提示すること。
- 重大事故等対処設備について、設置変更許可申請書で定義している「許容応力状態V」を荷重の組合せで考慮していることを整理して提示すること。
- クラス1弁の強度計算方法について、流体温度変動の振幅を求めるために用いる運転条件図の詳細を整理して提示すること。

#### <強度計算書>

- 非常用ディーゼル発電機空気だめの鏡板部について、曲げによる厚さの減肉率の考え方を整理して提示すること。
- 弁の強度計算書について、強度計算した部位が明確になるように整理して提示すること。また、繰返しピーク応力強さの評価に用いている実際の繰返し回数 $N_i$ の根拠を提示すること。

(3) 日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

## 6. その他

### 提出資料：

- ・ 東海第二発電所 ブローアウトパネル及び関連設備の工事計画認可申請に係る論点整理について（コメント回答）
- ・ ブローアウトパネル関連設備の設計方針
- ・ クラス1管の強度計算方法
- ・ クラス2管の強度計算方法
- ・ クラス3管の強度計算方法
- ・ クラス4管の強度計算方法
- ・ 重大事故等クラス2管の強度計算方法
- ・ 重大事故等クラス2容器の強度計算書の説明分類
- ・ 重大事故等クラス2容器のうち空気だめのだ円マンホールの厚さ計算に適用する評価手法の妥当性について
- ・ クラス1弁の強度計算書の説明分類
- ・ クラス1弁の強度計算方法
- ・ 弁の強度計算書
- ・ S45年告示に規定がない機器の許容値の考え方について
- ・ 重大事故等クラス3管の強度計算書の説明分類
- ・ 重大事故等クラス3容器の強度計算書の説明分類
- ・ 東海第二発電所 工事計画審査資料 重大事故等クラス3管の強度評価書
- ・ 東海第二発電所 工事計画審査資料 非常用窒素供給系 高圧窒素ボンベの強度評価書
- ・ 東海第二発電所 工事計画審査資料 補機駆動用燃料設備 タンクローリの強度評価書
- ・ 各クラス機器の強度に関する説明書の補足説明資料